

令和4年度 施設としての自己評価

中田 おひさまの森保育園

平素は中田おひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというとできていなかった 【2】どちらかというとできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
●保育内容(今年度の重点)		
・愛着についての理解と愛着形成の実践	3	ミーティングや日々の屋礼で子どもの発達をすり合わせながら、1年とおして愛着関係が築けるよう、全体で愛着への理解を深めていける体制を作り実践した。
・愛着への理解を深め、年齢・個々に合わせた愛着形成を実践していく		
・子どもの意欲を伸ばす声掛けの検討と実践	3	子どもの姿を見ながら応答的に関わることで個々への理解を深めて適した言葉かけや意欲につながるきっかけを提供できるよう実践した。
年齢ごとの育ちや、個々に適した声掛けとは何か常に考え、意欲に繋がる言葉がけを実践していく		
●施設設備		
・保育室環境について	3	子どもの興味に合わせ、歳児ごと特性や育ちを考えた保育を行えるよう、都度話し合いを行った。また、安全面でも様々な可能性を考慮し、個々がのびのびと、また、自分で選択して遊べる環境作りにこだわった。
安全で快適な保育環境を保ち、歳児ごと育ちに適した室内環境を整えていく		
・園周辺環境の活用について	2	公園等で思い切り体を動かせる機会を多く取り入れたことで、自然に触れる事が多くなり、コミュニケーションや家庭での会話のきっかけとなった。また、地域の親子との関わりも少しずつ持つこともできるようになってきた。
地域の特性や環境を理解し、保育に取り入れ活かしていく		
●保健・衛生		
・感染症対策について	4	市や地域の感染症の動向を把握し、嘱託医からの指導のもと、感染拡大防止に努めた。環境だけでなく、職員や子どもへ向けての感染防止策も工夫し実施した。
コロナウイルス感染症をはじめ、感染予防と対策を行い感染症拡大防止に努めていく		
●運営		
・行事のありかたについて	3	常に市や地域の最新の感染情報を得ながら、行事の開催方法の検討を行った。保護者へも、意味や意図をお伝えし、中止になった行事でも、育ちを表現できる機会をもった。
コロナ禍における行事のあり方を検討し、育ちを表現できる最善の環境を模索していく		
・保護者との連携体制について	3	継続した育ちのサポートができるよう、家庭での様子や園での様子を共有した。目に見えるものだけでなくコミュニケーションを取りながら声をかけやすい状況を作り、いま 感じていることなど想いを頂きながら一緒に考えサポートしていった。
保護者との関係のあり方を考え、「ともに子どもを育てる」関係性を育む		
・危機管理について	3	日々の安全チェックの実施とともに、環境について考える機会を持った。また、軽傷報告やヒヤリハット等で分析し環境改善に努めた。
子ども及び職員の生命を守る自覚をもち、危険を予知・予測し、回避に努めると共に、発生時には被害を最小限にとどめることができるよう努めていく		

【総評】

コロナにより状況が日々変化する中、その時々で考えご理解いただきながら実践し、初動に課題は残ったものの、向上させていくことや新たな対応の仕方を身に着けることができたのではないかな。また、質の向上の観点では、危機管理や不適切保育の研修等実施し職員全体で見直しを行ったことで日々の保育に対する考え方の変化も感じられるようになったと感じている。

令和5年3月30日

主任 加門 千羽瑠

上記の園自己評価の結果を掲示とともに開示させていただきます。尚この掲示は3/1から来年度4/末日まで開示します。